

まだ見ぬビハール州とジャールカンド州～

インドの宝・アーディヴァシーの家の壁画とミティラー画の里を訪ねる

ご旅行期間とご旅行代金

【旅行代金には燃油サーチャージが含まれております】

2026年 2月9日(月)発～2月18日(水)着…¥759,000

お一人部屋利用追加料金 ¥89,000



ハザリバーク

まだ知られていないインド芸術の楽園・ハザリバーク～失われつつある壁画を求めて

ハザリバークは、インドではあまり知られていない芸術の楽園の一つです。インド東部ジャールカンド州の小さな郡であるハザリバークには、ムンダ族、サンタル族、オラオン族、アガリア族、ビルホル族、クルミ族、ブラジャーパティ族、ガトワル族、ガンジュ族など、多くの部族や民族が暮らしています。世界にはほとんど知られていませんが、この地域の女性たちは何世紀にもわたって、この地域で発見された洞窟壁画を彷彿とさせる芸術的伝統を活かし、美しいデザインで家を彩ってきました。ほとんどの家では、結婚を象徴するホヴァルと収穫を象徴するソーライという 2 種類の儀式用の壁画が見られます。女性アーティストたちは緑豊かな動植物の絵を描き、文字通り村々を庭園の地へと変貌させます。

インドの先進国化により、土壁の家からコンクリートの家へ変わりつつあります。土壁の家が無くなるとこの美しい壁画も消滅していくことになるのです。



ハザリバークの壁画



バラナシ

インド最大のヒンドゥー聖地・バラナシ

インド北部ウッタール・プラデーシュ州に位置するバラナシは、約 3000 年以上の歴史を持つ世界最古の宗教都市の一つです。ヒンドゥー教をはじめ、仏教やジャイナ教の聖地としても知られています。

この町はヒンドゥー教の破壊と再生の神、シヴァ神の都市とされ、「ここで沐浴すれば罪が清められる」

ここで死を迎えれば輪廻から解放される(モークシャ)」という強い信仰の対象となっています。

そのため、バラナシは「バラナシ 死を待つ人の塔」という表現に象徴され、人生最後の地として選ばれる特別な場所なのです。

	都市名	スケジュールと見どころ/お食事と宿泊地
1	千歳羽田デリー	■スーツケース無料託送サービス ご自宅～空港 ■朝、千歳空港より、全日空(※)にて、羽田空港へ[07:30発]。 ■午前、羽田より、全日空(※)にて、インドの首都・デリーへ[10:35発/17:25着]。 ■デリー到着後、ホテルへ。 ☒・☒・☒[デリー空港近郊泊]
2	デリーダルバンガ	■午前、航空機にて、ビハール州の ダルバンガ へ。 ■着後、ダルバンガ市内観光です。ダルバンガ城壁等見学します。 《 ビハール州のダルバンガに連泊です 》 ☒・☒・☒[ダルバンガ泊]
3	ダルバンガ(マドゥパニ)	■終日、ダルバンガ近郊の街でミティラー画の里 マドゥパニ の観光です。 ■沢山のミティラー画で覆われるマドゥパニ駅、 ランティ村、ジットワルツプル村 、マドゥパニ・アート・ギャラリー、アートスクール等へご案内します。 ☒・☒・☒[ダルバンガ泊]
4	ダルバンガパトナー	■午前、ビハール州の州都 パトナー へ[約5時間]。 ■途中、釈迦最初の修行地であり、最後の説法の地 バイシャリ へ立ち寄ります。アショカ王の石柱もご覧いただけます。 ☒・☒・☒[パトナー泊]
5	パトナーランチ	■朝、航空機にて、2000年に出来たジャールカンド州の州都・ ランチ へ。 ■着後、専用バスにて、美しい景色がご覧いただける カナリーの丘 とこの周辺の壁画等を集めた サンスクリット美術館 を見学します。 《 ジャールカンド州の州都・ランチに連泊です 》 ☒・☒・☒[ランチ泊]
6	ランチ(ハザリバーク)	■午前、ランチ郊外のインド芸術の楽園・ ハザリバーク へ。 ■着後、ハザリバーク近郊の村々を巡り、 アーディヴァシーの家の土壁に描かれた独特な壁画 をご覧ください。 ■午後、ランチへ戻ります。途中、数千年前に描かれた岩絵で有名な イスコ村 を見学します。 ☒・☒・☒[ランチ泊]
7	ランチバラナシ	■早朝、列車にて、ヒンドゥー教の聖地・ バラナシ へ向かいます[所要時間:約8時間]。 ■着後、ホテルで休憩です。 ■夕刻、インドの祭司階級で最高位のバラモンによって毎日行われる ブージャ(アールティ)礼拝儀式 をご覧ください。 《 ヒンドゥー教の聖地・バラナシにも連泊です 》 ☒・☒・☒[バラナシ泊]
8	バラナシ(サルナート)	■朝、日の出の時間に合わせて、 ガンジス河での沐浴風景 をボートにてご覧いただけます。 ■その後、バラナシの旧市街を散策します。インドらしい混沌した雰囲気をお楽しみください。 ■午後、仏教四大聖地の一つで、仏陀が初めて説法をした 初転法輪の地・サルナート(鹿野苑) 仏教遺跡の観光(巨大な仏塔ダメーク・ストゥーパ、本殿とアショカ王の柱、ムルガンダ・クティ・ヴィハール、菩提樹など)。 ☒・☒・☒[バラナシ泊]
9	バラナシデリー	■午前、航空機にて、デリーに戻ります。 ■午後、デリー空港より、全日空(※)にて帰国の途へ[18:00 発]。 ☒・☒・☒[機中泊]
10	羽田千歳	■朝、羽田空港到着[05:55 着]。入国審査・税関検査ののち、全日空(※)にて千歳空港へ。 ■午後、千歳空港到着後、解散。 ■スーツケース無料託送サービス 空港～ご自宅 ☒・☒・☒

※右記の時間は、すべて現地時間で表示されております。

※表記の「○」はお食事の有を示します。「+」は機内食、「×」の食事は含まれておりません。

※現地の都合によりスケジュールが変更される場合がございます。その場合でも極力日程に従って旅行サービスがお受けになられるよう万全の手配努力を致します。

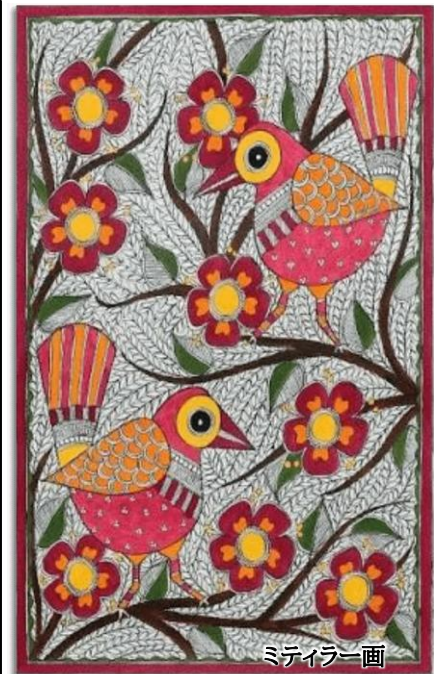
(※)利用航空会社が全日空ではなく日本航空に変更になる場合がございます。出発・到着時間の差はほとんどありません。

ミティラー画の里・マドゥパニ

インド・ビハール州北部の南北をガンジス川とヒマラヤ山麓に囲まれた広い平原地帯は、古来ミティラー王国と呼ばれていました。仏陀やジャイナ教の始祖マハービーラを生み、インド最古の叙事詩「ラーマーヤナ」の舞台としても知られており、全インドや東南アジアの文化に広範な影響を与えてきました。

この地において女性たちは、3千年にわたり、母から娘へと壁画を伝承してきました。

灼熱の日照り、長い雨期、洪水、旱魃(かんばつ)、地震、ヒマラヤの極寒の風。自然の脅威に対して、作物の豊穡、夫や子供の幸せを祈って、ミティラーの女性たちは土壁や床に描きつづけてきました。太陽・月の運行にあわせた豊かな儀礼、家庭祭祀のたびに宇宙創造や自然神、ヒンドゥーの神々が、素朴な家の壁を飾るかのように描かれています。



ミティラー画



ミティラー画

ご利用予定ホテル

- デリー／アショカ・カントリー・リゾート、グランド・リージェント・ホテル
 - ダルバンガ／ミーナ・アルナ・イン、インペリアル
 - パトナー／プレジデント、ヴィティカ・プレミア
 - ランチ／ル・ラック・サロヴァール・ポルティコ
 - バラナシ／コスタ・リヴィエラ・ホテル
- ※上記または同等クラスとなります。

ご旅行条件

- 募集人数/8名様定員 ■最少催行人数/**4名様**
- お食事/朝食8回・昼食8回・夕食8回
- インド査証料・同取得手数料/¥9,850(別途必要)■旅券残存期間/6ヶ月以上
- 査証用写真/1枚要[5cm×5cm・カラー・背景:白色]※事前にパスポートをお預かりします。
- 国内空港利用料/¥4590(別途必要)■国際観光旅客税/¥1,000(別途必要)
- 海外空港税・出国税/旅行代金に含まれております。
- 千歳空港より、全行程、社員添乗員同行
- トランク往復無料託送サービス[ご自宅～空港～ご自宅]